

佳作 自分に出来ないことはない



イスマ アジザ

ISMA AZIZAH

国 籍 インドネシア

職 種 介護

実習実施者 社会福祉法人ポプラ会

監理団体 協同組合ケアサポート瑞穂

インドネシア出身のイスマと申します。私は母国での看護の経験を活かし、日本での介護の道を目指し、2023年5月に来日しました。

幼い頃の私は、教師や料理人など様々な職業に興味はありましたが、あなりたい、こうなりたいという漠然としたイメージしかなく、自分のなりたい姿がまたピンときませんでした。しかし、ある出来事をきっかけに、私は看護学校に進むことを決意しました。それは、ある日、交通事故の現場を通りかかった時に、救急車からけがした人に駆けつけて現場を見ても怖がることもなく素早く助けに向う看護師の勇氣ある姿を見て感動し、それ以来、私は人々を助けられる人間になりたいと看護師を目指しインドネシアの看護学校へ進学することになりました。

看護学校にいた時に、先に日本に介護の勉強をしに行った友人から色々な事を聞きました。母国では、介護はまだ一般的なことではないことを知り、日本に学びに行こうと思いました。そして、帰国したら、介護の貴重な知識と経験を母国で活かしたいと思っています。介護

のことだけではなく、日本に行って自分の目でさくらの美しさを見てみたり、富士山に登ったり、母国では得られない日本ならではの体験を色々やってみたいと思っています。

日本語が出来なかった私は、まず日本語の勉強を始め、N3試験に合格して日本へ行く夢をかなえることが出来ました。私は今、特別養護老人ホームミモザ荘で技能実習生として日々、学ばせて頂いています。私の職場の施設では、100才のおじいさんがいらっしゃいます。まだ頑張ってる生きようとするおじいさんの姿は印象に残っていて、私はおじいさんを尊敬しています。しかし、ある日私が夜勤のときに同僚の職員に呼ばれ部屋に行くと、おじいさんは、亡くなっていると説明を受け、それから、私は生きる意味を考え自分の人生のみらず、利用者様との時間、出会いを一つひとつ大切にしながら、心を込めて仕事をしながら、生きていこうと思いました。

私は「自分に出来ないことはない」という言葉を胸に刻み、日々の介護の仕事と日本語の学習に挑んでいます。日本語が上達しないと、次の夢を実現することが難しいので、日本語の勉強を日々、努力しています。3年間の技能実習を終えた後、私は介護福祉士の国家資格にチャレンジし、ゆくゆくはグローバルに活躍できる国際看護師を目指したいと思っています。最後にインドネシアから日本へ送り出してくれた家族や友人、先生、施設の職員や私は支えてくれる人達に感謝しながら頑張っていきたいです。